

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	丹後七姫小路による旧花街の活性化
対象地域	京都府宮津市新浜
対象地域の概要	  【位置図】   新浜地区 新浜の現況
提案内容の概要	①地元民と都市部の人や若者の交流拠点として空き店舗を利用し、「宮津花街ピント館」（名称）を開設し、丹後地域文化・物産販売・芸能などの演出空間として運営する。 ②丹後の食膳料理人と丹後の食材を生かした七姫商品を開発。併せて既存品からの選定。 ③新浜アクセス計画の推進研究提案（鉄道・バス・船の丹後往来交通網）
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	① 丹後文化とりわけ宮津の伝統楽器奏者の後継不足、高齢化は伝統文化の衰退は顕著である。それに伴い観光客の減少にも繋がった。新たに踊り手を含め、継続した受講者の募集と講習会の開催、発表会等の開催が必要である事が判明した。 ② 丹後の食材を利用した料理や土産品（とり貝、岩牡蠣、干し魚、へしこ、鯖すし）などはあるがPRが不十分で、折角の新鮮な魚介類や生野菜が活用しきれないところがある。丹後ブランド商品として、販売店、飲食店の30店舗程度（現在10店程度）が期待されている事が判明した。
(2) 活動内容の案	活動①: 伝統文化の継承と「宮津花街ピント館」運営及び伝統文化を生かした集客イベント事業 内容: 空き店舗を利用した「宮津花街ピント館」に於いて、宮津節を始め宮津の唄と踊りを、自らと来訪者を楽しんでいただくために伝統文化を習得するとともに「もてなしの心」を養成、得るため「若おかみ」講座を開催する。また新浜文化の指導者の高齢化に伴い動画等により記録を残す。昨年度は若者の参加が少数であった。今年度は都市部（大学提携ゼミの開催等）、丹後一円より希望者を募集する。講習成果の発表会の開催や丹後七姫の参加と合わせ、宮津節を始め宮津の唄と踊りや地元の芸達者によるパフォーマンスの披露で集客イベントを実施する。 今後は地元住民が一体になって「歴史をストーリー化して観る、文化を習得し楽しむ、地産を食べる、地域産土産を買う」を活動の中心にして取り組み、また「もてなしの心」を生かした新浜文化と丹後広域文化を都市部の人々も体験できる場とする。

	活動②: 七姫商品開発と選定及び販売並びに丹後広域における連携活動 内容: 丹後の食材を利用して、新たに商品の開発と現存する商品から募集選定し、丹後七姫商品として丹後ブランド商品化する。丹後広域における連携活動として、「宮津花街ピント館」に於ける販売を始め丹後各地に販売拠点を設ける。 新浜に立地する情報発信基地－宮津ＴＶと連携し、ネット販売拠点及び「丹後七姫小路－新浜花街」ブランドを発信し、活動を支援する。 活動③: 新浜アクセス計画の推進研究提案と空き家状況把握調査 内容: 鉄道・バス・船の丹後往来交通網の整備について、「宮津市地域公共交通会議」に提案できるよう、北近畿タンゴ鉄道(株)、丹後海陸交通(株)の指導のもと、新浜へのアクセスを研究する。 地区内の空き家の状況を把握調査し、活用を検討するとともに、入居者・利用者を募るネットワークの構築を図る。
応募団体名	みやづ新浜まちづくり組合
リンク	
部局／担当者名	副理事長 土井和也
連絡先	Doiroku-315@joy.ocn.ne.jp
推薦市町村名	京都府宮津市